



撮影：(高35回) 木下 匡晃

大正十二年四月、松本第二中学校として呱呱の声をあげた母校は、平成三十五年には創立百周年を迎える。戦前、戦中、戦後の激動期を経て、クラブ活動

でも大学進学でも、輝かしい実績と発展を積み重ねて来た。しかし、百周年を迎える母校を取り巻く教育環境は楽観を許さない状況にある。

県下の高校入学者数は平成二年には2万8000名であったが、平成三十四年には1万4560名と52%に減少する。更に、松本地区の生徒数は平成三十五年までに概数で1300名程度減少すると言われている。市内高校一校分に相当する生徒数激減となる。こうした生

◆ 中 ◆ 高 ◆

松本県ヶ丘高校

# 同窓會報

発行  
一般社団法人  
松本県ヶ丘高等学校同窓会

編集  
同窓会広報部

題字  
会長 佐藤彦雄

印刷  
アサカワ印刷株式会社

創立百周年記念事業の基本理念は、

- 一、地域社会の文化高揚への貢献事業
- 二、母校の教育環境の整備
- 三、同窓会の発展

の三事業に絞られるが、具体的な事業内容は今後会員の叡知を集約し、さすが県陵だと評価される事業に仕上げたい。百周年

創立百周年記念元年



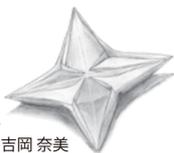
今こそ  
同窓回帰  
のとき

同窓会長  
高5回  
佐藤彦雄

高校第二次再編に向けて「長野県高等学校将来像検討委員会」を昨秋立ち上げ、来年三月をめどに成案を得たいとしている。その動向を注視したい。

の成否は同窓生、特に若い世代が立ち上がるか否かにかかっている。横軸として各年代の同級会、同学年会の活性化を図り、クラブの先輩後輩の縦軸との連携を密にして、血の通った組織を作り上げることが急務である。その為には、各クラス、各学年ともこまめに動けるリーダーを選出し、百周年を我等の手でやり遂げようという、大きな旗印の下に全同窓生が結集することだ。

青春の血潮を再び滾らせ、わが母校県陵が更に輝かしい歴史を刻めるよう、県陵同窓生としての自負を胸に、連帯感を持って立ち上がろう。今しかないのだ。



白虹会 3年 吉岡 奈美

## 平成 27 年度 同窓会通常総会ご案内

期 日：平成 27 年 6 月 6 日(土)  
受 付：午後 4 時から  
会 場：松本勤労者福祉センター  
(松本市中央 4 丁目)  
総 会：午後 5 時から  
懇親会：午後 6 時予定

- 議 事
- 一、平成 26 年度事業報告および決算報告・監査報告
- 一、平成 27 年度事業計画および予算審議
- 一、役員改選の件
- 一、その他

- 懇親会 (当番 高43回生)
- 会費 3,000 円
- 申込方法
- \*各年次役員または事務局まで所定の用紙に会費を添えて
- \*ホームページ申込フォームより
- \*当日申込・会費支払も可
- 申込締切 5月29日(金)